

審査員特別賞

見つけよう！自分にできること

宮崎市立大淀中学校 3年

橋本 七帆

「Think globally, act locally～世界規模で考えて身近なところで活動する～」昨年滞在したアメリカで私はこの言葉と出会った。

滞在中、私は「救世軍」というボランティア団体の手伝いに行った。そこで私は、失業などの理由で社会的支援が必要な人々に物資を渡していくというボランティアをした。たくさんの方が物資を受け取りに来た。それまでアメリカ＝豊か、というイメージをもっていた私は、これほど多くの方がその日の生活に困っているということに驚いた。同時に、世界には支援を必要としている人がもっといると思うと、ただ物資を渡すことしかできなかった自分を無力に感じた。

ボランティアの後は、救世軍のリーダーとして働く方のお話を聞くことができた。その方は、

「困っている人がいれば助けるという、シンプルなことをしているだけだ。大切なのは、世界のことを考えて、自分にできる身近なことをすること。」

と言った。その言葉は、あの時感じた無力さをなくしてくれるとともに、自分にも何かできることがあるという希望になった。

帰国後、自分にできることを探した。インターネットでランドセル寄付という広告を見つけ、しまっておいたランドセルを途上国の子どもたちのために贈る決意をした。嬉しそうにランドセルをせおう子どもたちの写真を見ると、私も嬉しくなった。

また、生徒会活動として、カンボジア地雷撤去支援を学校で行った。書き損じハガキ 3枚で約 1㎡の地雷を取り除くことができるというプログラムだった。放送などで回収を呼びかけると約 600枚も集まった。一人一人が持ってきたのは、1、2枚だが、それが集まって大きい数字になったのだ。その時、一つ一つの力は小さくても、決して無力ではないことに気が付いた。

紛争をなくしたい、みんなが平和に暮らせる世界にしたい、そう思っても、行動に移すことは難しいと思う。でも、自分ができる小さなことから始めれば、必ず大きな力になると私は思う。

「Think globally, act locally」この言葉に出会えなかったら、私は行動に移せただろうか。きっと、理想を想い続けるだけで行動には移せなかっただろう。私たちが、未来の地球のためにできることは、今、身近なところから行動することだ。